



株式会社 電算システム



株主の皆さまへ

第51期 中間報告書

第2四半期連結累計期間

平成29年1月1日～平成29年6月30日

東証第一部 / 名証第一部 3630



戸隠神社例祭(九頭宮祭) (岐阜県・郡上市和良町)

Challenge Innovation Speed



表紙について

「戸隠神社例祭(九頭宮祭)」(岐阜県・郡上市和良町)」

岐阜県郡上市和良町の戸隠神社(とがくしじんじや)の祭礼で、地元では九頭の宮祭り(くずのみやまつり)の名称で親しまれ、10月の第2日曜日に本祭、前日に試業が行われています。

安土桃山時代から江戸時代初期の頃の早魃(かんばつ)のさい、九頭大明神(当神社)で天の岩戸開きを再現したのが始まりといわれ、400年余の歴史を持ち、山車、獅子舞、馬追い神事の他、境内の舞台上で大神楽舞、伊勢神楽などが奉納されます。地を踏み邪気を鎮める白馬と黒馬のひこ馬12頭による「馬乗り」や曳山の引き役を担当する子供ら約50名の光景は参道や境内を埋め尽くし、観る者を楽しませます。(写真:和良観光協会提供)



Contents

株主の皆さまへ／配当について 02

特集

リアルタイムデータの活用で進化する、
デジタルサイネージビジネス 03

平成29年12月期 第2四半期(累計)の業績について 05
経営指標の推移／事業別の業績

シリーズ・お客さまとともに Vol.13 08

DSK TOPICS 09

会社概要及び株式情報 10

DSKラウンジ 裏表紙

株主の皆さまへ

前年までの複数の課題部門が好転し、 増収・増益となりました。 通期業績達成に向け、邁進してまいります。

代表取締役社長執行役員COO
(最高執行責任者)

たなか やすのり
田中 靖哲



株主・投資家の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

平成29年12月期(第51期)の第2四半期連結累計期間の決算の概要がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間において日本経済は、回復基調にあります。依然として先行きは不透明な状態が続いております。このような中、当社グループの業績につきまして、売上高は163億15百万円、営業利益は6億28百万円、経常利益は6億54百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億16百万円となりました。

セグメント別の業績について、情報サービス事業では前年度に株式会社ゴーガを子会社化し、新たに連結の範囲に含めたことなどにより、Google 製品をはじめとしたクラウド関連サービスが順調に推移したことや、交通移動体向けクラウド型デジタルサイネージの提供販売、大手ゼネコン向け機器販売、地方公共団体向け管理システム、地方自治体向けのシ

ステム機器導入、エネルギー業向けの業務システム導入などにより、売上・利益ともに前期比・計画比を上回りました。

収納代行サービス事業では、2月の収納日がうるう年であった前年と比較して1日少ないことなどにより払込票減少の影響を受けたものの、新規取引先や自治体の収納件数の順調な伸びに支えられ、第2四半期累計期間を通して計画を上回ることができました。また、スーパーマーケットやドラッグストアチェーン店舗向けの収納窓口サービスの導入店舗数もほぼ計画通りに増加いたしました。

通期の見通しについては計画の見直しをいたしております。デジタルサイネージ等、複数の課題事業が好転しましたが、下期に解決すべき課題もあります。例えば名古屋圏は、当社の売上比率が低く強化を進めることが課題ですが、そのための費用が必要です。また、M&Aを行う調査費用等も下期に計画しています。今後の業容の拡大と成長のための支出を踏まえつつ、経営計画の達成に向け邁進してまいります。

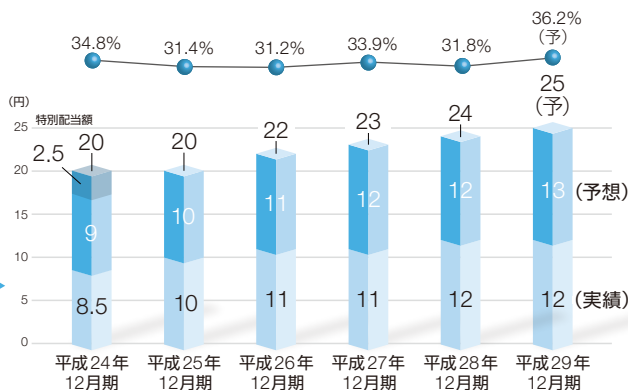
配当について

当社では上場以来、毎年普通配当において増配を維持しており、平成29年12月期は中間12円、期末13円の年間25円を予定しております。

1株当たり配当額の推移(単位:円)

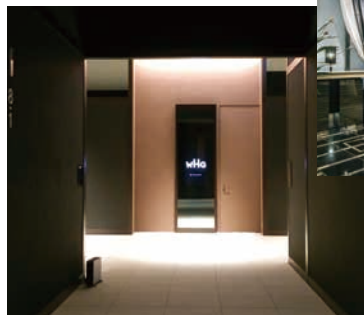
● 配当性向
■ 1株当たり期末配当額
■ 1株当たり中間配当額

*過去の配当額は、株式分割(平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割)を勘案した数値

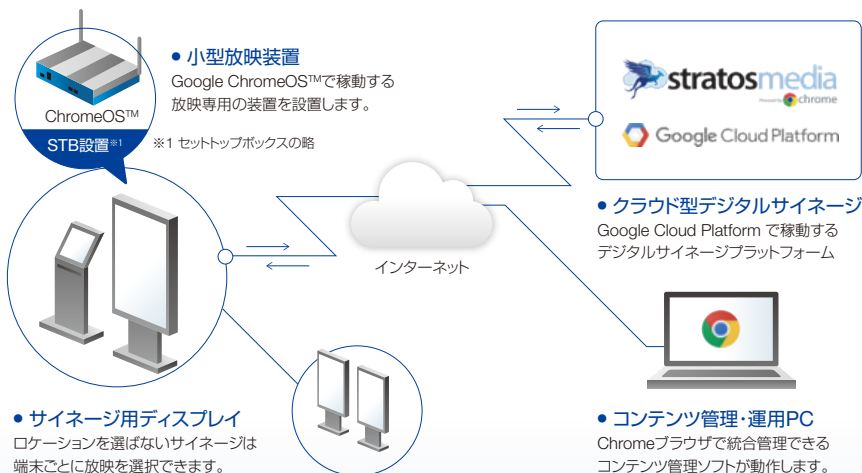


リアルタイムデータの活用で進化する、デジタルサイネージビジネス

当社は、2013年より、高機能のデジタルサイネージのご提供を開始してまいりました。デジタルサイネージシステムとは、街中の店頭や大規模な商業施設、駅などの公共空間において、ネットワークに接続したディスプレイで映像や情報の配信をする、いわゆる電子看板のことです。また、2015年より、当社のシステム開発力と、Google 関連ビジネスでの豊富な実績をもとに、日本国内初となるStratosMedia社が提供する、Google のChrome OS™に連携したクラウド型デジタルサイネージシステム「StratosMedia (ストラタスメディア)」の販売をしております。従来型のデジタルサイネージでは難しかったリアルタイムデータを活用できるという利点により、より効果的な広告配信が可能です。



03



DSKならではのデジタルサイネージのポイント

- 多彩なラインナップ
- コンサルティングからアフターフォローまでの一貫サービス
- Google 関連ビジネスの豊富な経験と実績

当社は、Google Cloud パートナーとして Google 製品を取り扱っており、Google 製品やサービスを熟知している当社ならではの最適なソリューションのご提案が可能です。





ICTイノベーション事業本部
クラウドインテグレーション事業部
執行役員・事業部長

渡邊 裕介

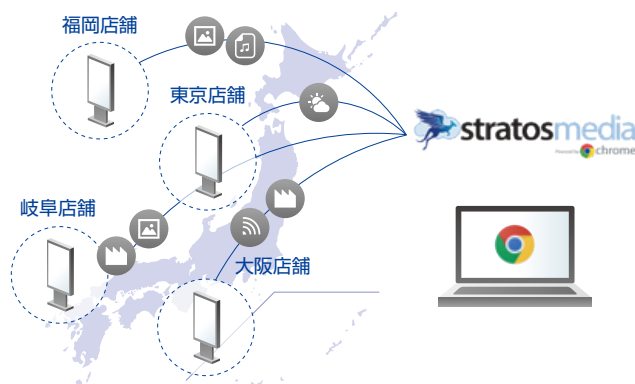
Q1 従来型デジタルサイネージとどう違うのですか。

従来型デジタルサイネージとは、ポータブルプレイヤーやPC、コンテンツ配信サーバーなどを屋内に設置するオンプレミス型とも呼ばれています。これらオンプレミス型のデジタルサイネージではハードウェア資産を運用する必要があり、メンテナンスなども現地で行うことが多く、お客様が求めるコンテンツ配信ニーズを満たせていませんでした。昨今ではインターネットのテクノロジーが進化し、ハードウェア資産を持たなくてもクラウドで同等のサービスを提供することができるようになってきています。

「StratosMedia」は、WEB技術を取り入れることで遠隔地へのコンテンツ配信を容易にし、ダイナミックなデータ(天気、気温、時間、位置情報など)をトリガーとした情報の配信ができます。例えば、近くにある商業施設のイベントに合わせた広告を配信するなど、<その時>、<その場所>に合わせたコンテンツを再生することで、より効果的でニーズの高いPRを実現できます。つまり、オフラインとオンラインの架け橋になる機能を持ったデジタル時代に必要なデジタルサイネージサービスが「StratosMedia」です。

Q2 ストラタスメディアの特徴を教えてください。

「StratosMedia」はWEBテクノロジーを応用した次世代型デジタルサイネージです。Chrome™テクノロジーをベースにしたプレイヤーは、軽量でChrome™ ウェブストアから導入も容易に行うことができます。コンテンツ配信サービスにはクリエイティブツールが搭載されており、メディア管理からスケジュール管理などクリエイターが抱えるデリバリーまでの課題を解決することで、スムーズなコンテンツ配信をサポートしています。位置情報を利用したコンテンツ配信も可能で、これまでのデジタルサイネージには難しいとされていた機能を提供しています。



Q3 今後の展開について教えてください。

今年導入いただいた都営バス様のような交通系デジタルサイネージは、他の都市でも採用可能であるため、幅広く展開していきたいと考えております。また、東京オリンピック・パラリンピ

クに向け、デジタルサイネージへの需要は増えると考えており、当社としては、2020年には13億円の売上を見込んでおります。

平成29年12月期 第2四半期(累計)の業績について

当社グループの平成29年12月期(第51期)第2四半期連結累計期間(平成29年1月1日～平成29年6月30日)における業績・財務概況及び通期の業績予想についてご報告いたします。

平成29年12月期 第2四半期(累計)業績のポイント

Point
1

両セグメントともに計画を上回る増収増益となり、利益面においては前年同期比53.3%増の6億28百万円となりました。

課題であった複数の事業が好転し、収益に貢献しました。

Point
2

純資産は前連結会計年度末と比較して3億34百万円増加し、89億47百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が2億98百万円増加したことによるものです。

05

平成29年12月期 通期業績見通し

平成29年12月期の連結業績は、売上高337億円(前期比11.0%増)、営業利益11億70百万円(前期比3.9%増)、経常利益11億80百万円(前期比2.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益6億75百万円(前期比7.7%減)を見込んでおります。

■ 四半期連結損益計算書(要約)[※]

| | 前第2四半期 平成28年1月1日から 平成28年6月30日まで | 当第2四半期 平成29年1月1日から 平成29年6月30日まで |
|------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 売上高 | 14,777 | 16,315 |
| 売上総利益 | 2,290 | 2,697 |
| 営業利益 | 409 | 628 |
| 経常利益 | 432 | 654 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 287 | 416 |

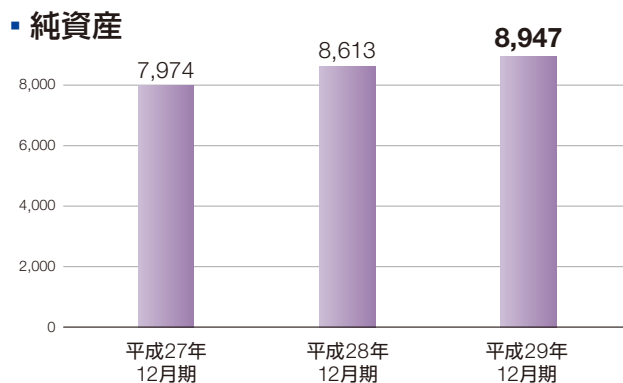
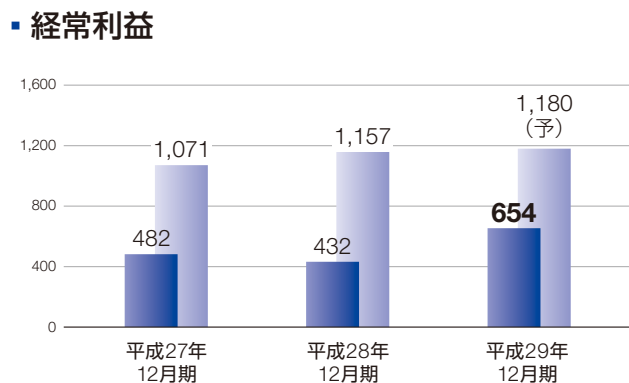
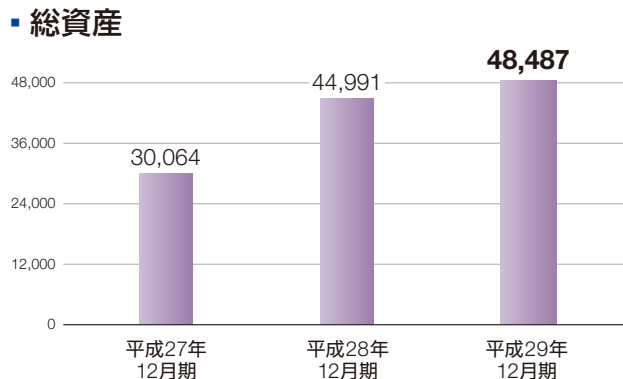
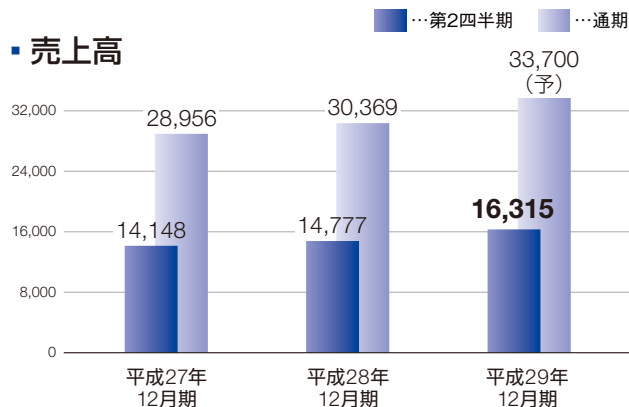
■ 四半期連結貸借対照表(要約)[※]

[※]単位:百万円、単位未満切り捨て

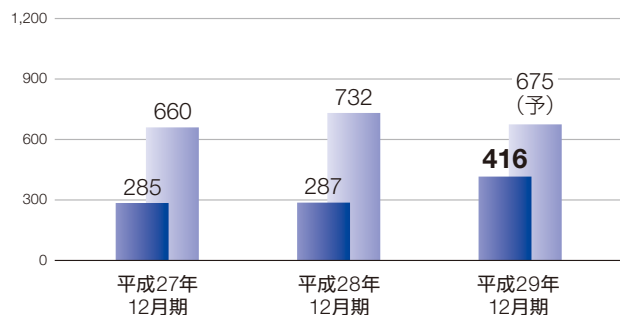
| | 前期末 平成28年12月31日現在 | 当第2四半期 平成29年6月30日現在 |
|-------|----------------------|------------------------|
| 資産合計 | 44,991 | 48,487 |
| 流動資産 | 39,746 | 42,802 |
| 固定資産 | 5,244 | 5,685 |
| 負債合計 | 36,377 | 39,539 |
| 流動負債 | 35,012 | 37,850 |
| 固定負債 | 1,365 | 1,689 |
| 純資産合計 | 8,613 | 8,947 |

経営指標の推移

単位:百万円、単位未満切り捨て

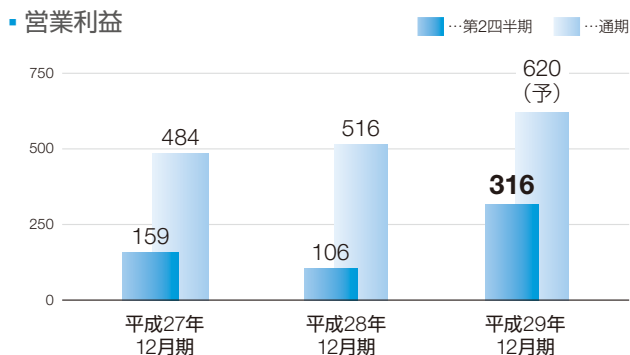
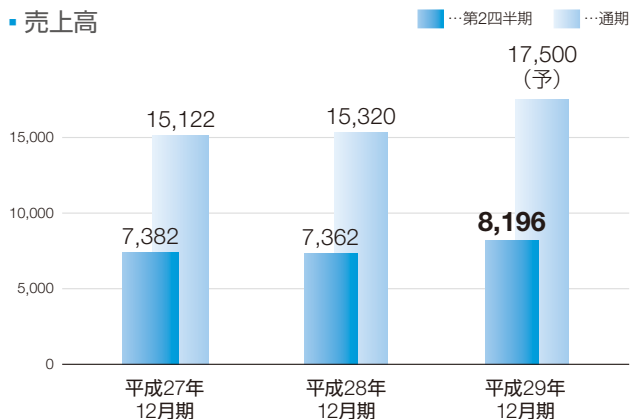


親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益

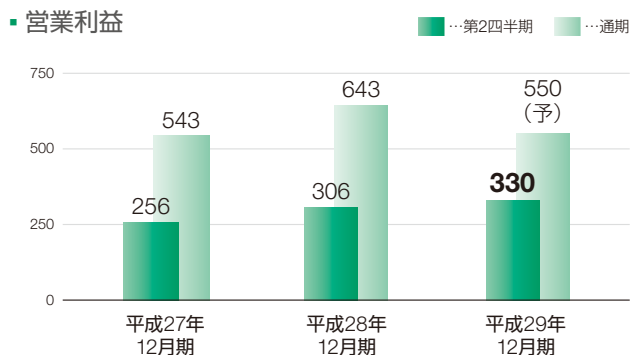
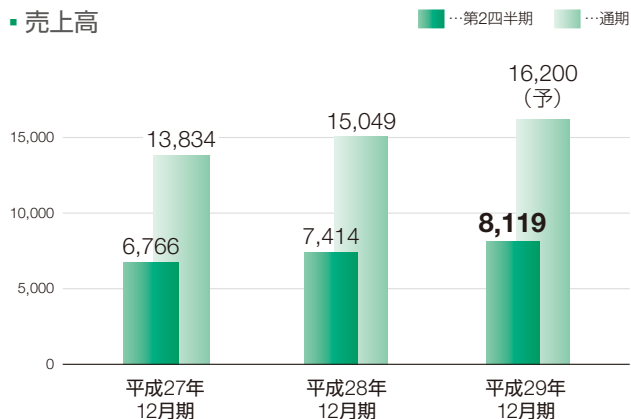


事業別の業績 単位:百万円、単位未満切り捨て

情報サービス事業



収納代行サービス事業



売上高は、前年同期比11.3%増収で81億96百万円、
営業利益は198.4%増益の3億16百万円となりました。

SI・ソフト開発においては Google 製品をはじめとしたクラウド関連サービスやデジタルサイネージの売上が順調に推移したほか、ソフト開発での大きな失敗がなかったことや情報処理における大型ギフト処理のコスト改善により収益性が向上しました。

売上高は、前年同期比9.5%増収で81億19百万円、
営業利益は7.7%増益の3億30百万円となりました。

新規取引先や地方自治体の収納件数・売上ともに順調に伸び、計画を上回りました。国際送金においては、マイナンバーの影響はあるものの、コスト構造変化で収益が改善されました。

次世代デジタルサイネージシステム

■ 株式会社電通様について

株式会社電通様は、日本最大手の広告代理店で、広告市場の収益において世界第5位の企業となります。今回のお取引先であるアウト・オブ・ホーム・メディア局(OOHメディア局)では、屋外看板や交通広告、デジタルサイネージなどの媒体に対するプランニングから広告枠の売買、掲載を行っております。OOHメディア局では、プランニングから広告

枠の売買、掲載までを完全に自動化する「Programmatic OOH」の構築を目指しており、都営バス向けデジタルサイネージシステムの選定においても重視されておりました。当社デジタルサイネージの取り組みや Google 社からの推薦もあり、今回お取引させていただくこととなりました。

今後も電通様の良きパートナーとしてOOHメディアの発展に貢献していきたいと考えております。



▲ 電通様 本社ビル

お客様からのコメント

Q 選択の決め手は何ですか？

A 電算システムさんはデジタルサイネージに精通しているだけでなく、Google クラウドサービスを用いた提案をいただき、将来のオンライン広告システムとの統合や拡張性に優れている点が決め手となりました。また電算システムさんが日本での専任代理店となっているStratosMediaは、当社

が推進するDynamic DOOH (外部データに基づき、今、その場所にふさわしいコンテンツをリアルタイムに配信する)機能が実装されており、当社の要求仕様を満たすものであったことも採用の決め手となりました。

Q 選択してみてもいかがでしたか？

A 今回のプロジェクトは、移動体(公共バス)における常時ダイナミックコンテンツ配信という、システム的にも大きなチャレンジで、不安定な電圧や振動等、バス特有の課

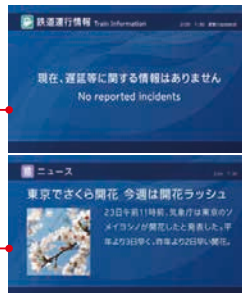
題、また公共交通機関ゆへの運用上の問題など、ときには予想もしないトラブルが発生することもありました。そんなときでも、電算システムさんはチーム一丸となって対応していただき、単にシステム構築会社としてではなく、目的を同じくするビジネスパートナーとして全幅の信頼を置いています。

Q 今後、電算システムに期待するものは？

A 日本のみならず、海外案件でも開発サポートを期待しています。

■ 当社がご提供したソリューション・サービス

当社は今回「StratosMedia」を活用した、交通移動体向けデジタルサイネージソリューションをご提供しました。バス車内に画面を設置し、デジタル広告を表示。走行中の現在地付近の店舗の広告や、天気・気温など周囲の環境に合わせたメッセージを表示し分けることができます。これまでは事前に用意した広告が、決められた期間に一方向的に流れるものが一般的でしたが、閲覧する側により効果的な広告配信が可能となります。





平成29年12月期(第51期) 株主優待の内容が決定いたしました

3,000円相当の商品を進呈!

岐阜県特産品にこだわった優待商品を取り揃え、
当期は岐阜県内特産品の中から、1つをお選びいただけます。
お申込カタログは平成30年3月下旬に送付いたします。

- 1 明方ハムセット
- 2 ハッシュドビーフ&ビーフシチューセット
- 3 はちみつゆずと人気国産はちみつ2本セット
- 4 世界農業遺産 清流長良川地酒(お酒)
- 5 玉井屋お菓子揃え
- 6 龍の瞳(お米 3kg)



対象:平成29年12月31日時点の株主名簿に記載または記録された
1単元(100株)以上ご所有の株主さまを対象といたします。

より多くの皆さまに中長期的に保有していただくために平成30年12月期末の株主優待から制度の一部を変更します

対象

1単元(100株)以上を1年以上継続
して保有いただいている株主さま

保有期間

平成29年12月31日、平成30年6月30日及び平成30年12月31日の
各株主名簿に、同一株主番号で3回連続で記載又は記録された株主さま

新サービス

「郵便局のみまもりサービス」の事務センター業務、運用開始!

当社は8月7日よりスタートした、日本郵便株式会社様の「郵便局のみまもりサービス」の事務センター業務を受託しました。当社は長年の経験や蓄積したノウハウを活用し、得意のデータ入力・処理や各種帳票の発行、コールセンター等のトータルサポートで、『バックオフィス業

務(利用申込書の登録や契約関係書類の発行)』『コールセンター業務(お問い合わせ対応)』『請求・入金管理業務』など、事務センター運営に関わる業務全般を実施してまいります。今後、この事業が発展・拡大していくよう全社を挙げて支援してまいります。



会社概要及び株式情報 (平成29年6月30日現在)

I 会社概要

| | |
|-------|---|
| 商号 | 株式会社電算システム(Densan System Co.,Ltd.) |
| 設立年月日 | 昭和42年3月14日 |
| 資本金 | 12億2,921万円 |
| 従業員 | 連結765名(単体561名) |
| 事業内容 | ・情報サービス事業(SI・ソフト開発、情報処理サービス、商品販売) ・収納代行サービス事業 |
| 本社所在地 | 岐阜本社 〒501-6196 岐阜県岐阜市日置江一丁目58番地 TEL.058-279-3456 東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目20番8号 八丁堀綜通ビル TEL.03-3206-1771 |

I 株式の状況

| | |
|----------------|-------------|
| 発行可能株式総数(普通株式) | 29,760,000株 |
| 発行済株式の総数(普通株式) | 10,040,000株 |
| 株主数 | 13,651名 |

I 取締役

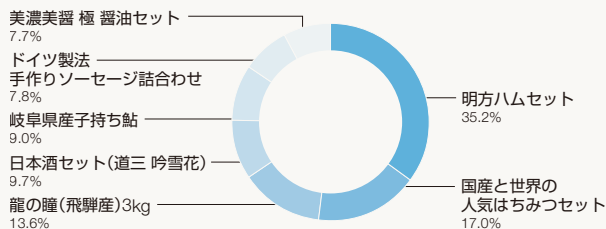
| | |
|----------------|-------|
| 代表取締役会長執行役員CEO | 宮地 正直 |
| 代表取締役社長執行役員COO | 田中 靖哲 |
| 専務取締役執行役員 | 松浦 陽司 |
| 専務取締役執行役員 | 小林 領司 |
| 常務取締役執行役員 | 杉山 正裕 |
| 取締役執行役員 | 加藤 徹 |
| 取締役執行役員 | 後藤 治人 |
| 取締役執行役員 | 高橋 謙太 |
| 取締役 監査等委員 | 富坂 博 |
| 取締役 監査等委員 | 野田 勇司 |
| 取締役 監査等委員 | 野村 研 |

(注)
1. CEO (Chief Executive Officer) 最高経営責任者
2. COO (Chief Operating Officer) 最高執行責任者
3. 富坂博氏、野田勇司氏、野村研氏は、社外取締役であります。

平成28年12月期(第50期)株主優待に関するご報告

株主優待に関する結果がまとまりましたので、ご報告させていただきます。
平成29年7月12日現在、97.7% (15,180株主)のたくさんの株主さまよりお申し込んでおります。
また、70%以上の株主の皆さまに「満足」とのご回答をいただきました。

■ 企画商品ごとの申込比率



※申込状況としてご案内後、約3週間で約72%の申込を受付けております。

IRサイトのご紹介

当社では、ホームページにて即時情報開示に努めております。
個人投資家向けIRサイトも設置しておりますので、ぜひご覧ください。

IRメールマガジンに
ぜひ登録ください!

当社の最新ニュースなどをメールでお知らせするIRメール配信をしております。当社ホームページにて登録を受け付けております。ぜひ、ご活用ください。

電算システムIR
メールマガジン

登録はこちら

IRサイト <http://www.densan-s.co.jp/ir/index.html>個人投資家向けサイト <http://www.densan-s.co.jp/ir/individual/index.html>

株主メモ

| | |
|-----------------|---|
| 事業年度 | 毎年1月1日から12月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年3月中 |
| 基準日 | 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年 6月30日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 公告方法 | 電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法とします。 【当社ホームページ】 http://www.densan-s.co.jp/ |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 特別口座の 口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |

| | |
|---------|--|
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。 |

●住所変更のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座を開設されていない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●配当金計算書について

配当金のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。なお、配当金額収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましては、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をされる株主さまは大切に保管ください。

株式会社 電算システム